

高校
阿
倍
野
新
聞

三面 特集(マツクイ虫防除
農薬空中散布を追う)
四面 体育大会特集・投稿
五面 執行部と対談・聖火
六面 風紀部会、先生にイン
タビュー

針灸

九月から十月にかけてはなかなか忙しい。体育大会や文化祭など、一年間の行事がみな集まったような感じが受け入れ。そんな中で今年は風紀部会が体育大会・文化祭に關して、今までになかった風紀部会の基本方針を出した▼この基本方針は、今まであまり注目されることのなかった風紀部会の存在を全生徒に再確認させる働きをもっているよううだ。しかし内容をじっくりと読んでみると、誰でも分かっていう上、新鮮味に欠けてごく当りまえのことが書かれているため、「なぜ我々がこんなことまで確かめないといけないのだ」といった怒りにも似た感情を持った者もいるだろう▼基本方針は先生のヒントをもとに、風紀部会があれこれ討議した結果作り出されたものである。そこで、生徒が色々な事項を集約し、最低この程度は守らねばならないと考えたとする点で評価を得るべきである▼ともかく、なにかと気が緩みがちなこの時期の風紀問題の解決をただ禁止事項のみに終わるのでなく、この期間を学生生活の一つとして折目正しく有意義に送ってゆくことが、先生、生徒共に何よりも重要な事ではないか▼今まではごく当りまえの事でもつい勢いに吞まれることが多かった。今この機会を生かしてみてはどうだろうか。マナーは社会生活でのパスポートみたいなものだ。みんな決めたものなら、なおさらである▼ある工業高校では先生がバザーなどを文化祭で、ほとんど認めてくれないと言う。その点我々は信用されていることになる。先生方の心配が杞憂ですむようにすべきではないだろうか。それは高校生活全般に言えることでもある。

特集 松くい虫 農薬空中散布を追う

一昨年あたりから新聞紙上をにぎわしていたマツカイ虫防除のための農薬空中散布は、各地で人体及び動物にあらゆる害を及ぼし問題を大きくしている。またそれらの被害に伴って西日本を中心として反対運動が盛んに行われている。その中でも比較的活発な、能勢・宝塚を訪れ、現地取材をしてみた。

消えゆくマツ林 マツ枯れに至るまで

昭和四十年頃から起り始めたマツの集団枯死は、その後の研究で、マツノザイセンチュウが原因であることが発見された。それに伴ってマツ枯れの過程が明らかにされた今日でも、被害は拡大され、全国に及んでいる。

マツは、スギやヒノキと同じように重要な森林資源であり、建築材、パルプ材として利用されるほか、マツから採れるマツヤニは、塗料としても利用されてきた。しかし、このマツがここ数年、所有者の手入れ不足から害虫に侵され、次々と姿を消していることを皆さんは、知っているだろうか。

これまでは、マツ枯れの原因は「マツカイ虫」によるものであったが、最近では「マツノザイセンチュウ」という名の虫が存在せず、マツの枝や幹の樹皮に穴をあけて侵入し、食害する甲虫類を総称して「マツカイ虫」と呼んでいたのである。

ところが、昭和四十六年国立林業試験場が研究した結果、マツ枯れは、マツノザイセンチュウによるものであることが発見され、その仲だちをするのが「マツノザイセンチュウ」の一種の「マツノカラミキリ」であることが判明した。

マツノザイセンチュウ（以下、ザイセンチュウと略す）とは、最近マツの材肉で発見された線虫で、体長〇・六ミリから一・〇ミリ、体色は、やや透明で乳白色を帯びていて、ザイセンチュウ自身には、羽も足もない。このザイセンチュウの卵は、最適発育温度（二十五度から三十度）では、二十四時間から五、五日間で成虫になる。

一方、マツノカラミキリ（以下、カラミキリと略す）は、その年の気象条件や地域によって、産卵の時期が多少異なるが、普通五月中旬から成虫になり始め、七月中旬までにほとんど終る。成虫は夜行性で、大部分の活動は夜間に集中している。

それでは、ザイセンチュウとカラミキリの間に、どのような相互関係が成り立ちマツ枯れに至るのであるのか。

カラミキリは、健全なマツの新梢を好んで後食（こうしよく・マツから栄養を摂取すること）し、それから三、四週間で産卵を始める。産卵場所は、主に樹幹の中間の太い枝で、樹皮にウスの状のかみ傷を作り、その中に通常一卵ずつ、一日大体五個づつ産卵する。

卵からかえった幼虫は、樹皮下の養分の通路となる形成層を激しく食害する。その後、成長して晩秋になると、同県高砂市でも、市当局及び国、県、空散中止の申し入れ、入山抗議などを行った。広島では「公害反対住民メーバー」が「マツ枯れと農薬散布を問う県集会」などを行っている。



マツノカラミキリがある。反対者は児童、園児の登校道を拒否したり、入山抗議（空散当日に入山し、中を妨害して反対を訴えること）をしたりした。また、同県高砂市でも、市当局及び国、県、空散中止の申し入れ、入山抗議などを行った。広島では「公害反対住民メーバー」が「マツ枯れと農薬散布を問う県集会」などを行っている。

現在、空散の際には、ほぼる。年間生産は、五千トン。全国で使用されているスミチオンという農薬について述べてみよう。

スミチオンとは、昭和十六年、住友化学が研究開発した最初の国産農薬である。治にも使用されている。効果は、年間に生産は、五千トン。全国で使用されているスミチオンという農薬について述べてみよう。

使用法を正確に 農薬スミチオン

散布方法の 長所と短所

マツカイ虫に、市や町の役所から散布殺虫する方法である。の防除方法は、予定日、時間、区域や注意三つに大別することができ、また、気象条件などにより予定を変更する場合、実施前日と当日に電話や広報車などで住民に伝える。空散は短時間で伐倒駆除はほとんど行われていない。たとえ人手があつたとしても費用の半分は国が負担してくるが、残りの半分は所有者が負担しなければならない。そのせいで、所有者が全額負担する空散が行われている。

果は、パラチオン（生産量使用量が一番多い農薬、呼吸、あるいは皮膚、粘膜などをとおして体内に吸収すると中毒になり、自律神経が侵される。現在は、製造禁止になった有機リン剤）と同等、またはそれ以上の毒性といわれている。急性毒性の点では安全性が高切った木に薬剤を散布して使用されている殺虫剤「マツノカラミキリ」よりも安全性が数倍高い。しかし、低毒性だからといって、安心してはならない。やはり、農薬と名のつく以上、その毒性や影響について知っておくべきだ。空散後、すぐに表に出たために亡くなった人もいた。これは、スミチオンがまだ空気中に残留しているからではないかと言われている。他にも、住民がノドの痛みや悪臭を訴え、さいらに誤って散布された簡易水道の水を飲んで下痢や肝臓障害などを起こした。また、鯉が死んだり、スミチオンのかかった桑の葉を食ったカイコが大量に死んだ。そして、ヘリコプターのパイロットのミスで人家の付近に数秒間、散布してイチゴやエンドウマメにスミチオンがかかり、枯れたりした。

と、目がチカチカする、気が悪くなる、スミチオンなどの有機リン剤による慢性毒性症状として、頭痛、嘔吐、めまい、視力低下、手足のしびれ、呼吸困難などの症状があるということだ。その他の被害については、千葉県で、散布後しばらくして、安全だと思つて入山した住民が死亡。淡路島・洲本市のモンキーセンターでは、四匹に一匹の割合で奇形ザルが生まれるというように上経過しているのに治らないという。

空散による被害が全国化しているとはいえず、反対運動は、やはり西日本の方が盛んである。反対者たちは、国や府県・市に対して、公開質問状を提出したりして「人間の生命が大事か、マツが大事か」と訴えている。そして、反対運動は、散布の炎症・吐き気・食欲不振・目の充血などの急性中毒症状がでた。これらの症状は数日後に回復したが、皮膚の炎症だけは、一ヶ月以上経過しているのに治らないという。



現在の安倍高を語る

トルである。これが張られたのは、破れて汚なくなつたためで、このことについて、軟式テニス部は、「我々が安全にクラブ活動を行



二〇

これからは、安心して練習に励んでもらいたい。

日には、重文の吉祥な
とが開帳されて、通りす
かりの旅人にも、おでん

や酒がふるまわれるとか、度ふるまわれた人は、必ず毎年くるそうだと、古い町並に今もつづく民間信仰、大都會では味わえないもの、大きな寺では感じえぬものを、今画の取材で大いに考えることができた。秋の日々に、あるいはアベツ

フで、たずねてみるのもいいだろう。

.....

西新屋町の庚申堂



— 聖 火 —

A hand-drawn sketch of a building facade. It features several vertical lines representing columns or structural elements. There are some rectangular shapes and lines indicating windows or architectural details. To the right of the main structure, there is a smaller, more complex structure with a gabled roof and some internal divisions. The drawing is done in a simple, sketchy style with black lines on a white background.

高くなつた防球網

また、硬式及び軟式テニス部のコートの周りの防球網も新しくなった。予算は三十七万、高さは、前に張られていた防球網と同じ三

.....

ことが開帳されて、通りす
 かりの旅人にも、おでん
 や酒がふるまわれるとか
 一度ふるまわれた人は、
 必ず毎年くるそうだと。
 古い町並に今もつづく
 氏民間信仰、大都會では味
 わえないもの、大きな寺
 は感じえぬものを、今

奈良市街の裏通り

いたろう。

西新屋町の庚申堂



西新屋町の庚申堂

学校生活の基本から

風紀部会基本方針成立する

この度、風紀運営委員会から文化祭に関する基本方針が打ち出された内容は、学校生活における基本的なことを守って、文化祭を成功させようというものである。二学期になって、懸案だった文化祭に関する基本方針が、運営委員会の基本方針が、打ち出された。今度の文化祭は、あくまでも基本的な内容で構成されており、文化祭を行うにあたっての心がけるべき最低限のものを掲げている。

内容は、「文化祭の意義は準備する過程にあり、その中で何かを創造し、クラス全員が協力して一つのものを完成させることにより親睦を深める」ということを基盤にしている。それと共に、学校全体の「雰囲気」を変えていくことを将来の目標としている。また文化祭とは、日頃我々が行っていることを発表する場であるから、文化祭を充実

紅葉の東北地方へ

二年生修学旅行

十月十三日(金)から十七日(水)まで、二年生の修学旅行が予定されている。場所は東北(福島・栃木・群馬)である。

ここで、旅行の日程を紹介しよう。第一日は、新大塚を午前八時頃出発し、新幹線で東京まで行く。その

この方針の目標は、文化祭における生活の乱れを防ぐ。止し、文化祭を成功させることだ。しかし、ただ文化祭まで有効と言うようなおぼろげな方針ではない。今を構成している風紀部会に、後の部会の土台として更に発展させていくつもりだ。

この方針は、いわば、現在の阿倍高の「立て直し」をすべく、今後の見通しをもつて、針を目標に、進めていく方向へもっていき、青写真のようなものだ」と言っている。

クラブ紹介

今回のクラブ紹介は、九月一日の朝会、の時に府大会の第三位で表彰を受けたサッカー部を訪ねた。

部員は、一年四名、二年三名、三年三名で、顧問は、川先生だ。

部員は、練習内容が、練習前の軽い準備運動、次に準備体操、そしてボールを使って、ドリル、シュート練習を行い、整理体操で終わる。

七月二十三日から行われた府大会の結果は、浪速高戦で二対一のPK合戦で、堺東高戦九対〇、泉洋高戦二対〇、藤井寺高戦三対〇、大阪工大付高戦二対〇と勝ち進み、明星高戦で惜しくも六対〇で敗れた。そして、その結果府下第三位となった。

目指せ全国制覇

サッカー部

川先生は、この大会について「三年が感じた。部員も、グラウンドの使用日が週二日しかなく、練習する時間が短かいため、内容を充実させるというところを感じた」ということとおっしゃった。そしてこの大会以後、府大会で敗れただけに、部員は自信・意欲を持つ



特訓中

秋……



秋……誰かがもの哀しくなる季節。虫の声、夜長、そんな魅力もあるけれど、スポーツするにも読書するにも良い季節だけれど、やっぱり秋葉を見ると沈み込んでしまう。

ふと「恋ぐすり」を売って歩くセールの人に出会った。……なんて思った。ふり向けば、そこにはあの人が立っていて、こちらに優しく微笑みかけてくれたら……なんて想像したりして、やっぱりかなわぬ夢と気づいては、涙する季節。



悲しそうに歩いてる人

個人の生活を重視

——先生にインタビュー—— 小西先生イギリス旅行の巻

今回は、七月月中旬から六週間、オックスフォード大学に滞在した小西先生に、イギリスの生活や、オックスフォード大学についてインタビューした。小西先生は、イギリスの生活や、オックスフォード大学について、どのような印象を持っていますか。

——そうですね、オックスフォード大学は、中世の学問の場であって、建物が美しいですね。歴史の古い建物が多いですね。歴史の重みを感じられます。でも日本の建物に比べると、なんとなく重苦しいですね。それだけに異邦人である私にとって、孤独な感じがします。ユニバーシティパークの緑陰なんかが、心を和らげました。



——それで、ロンドンにも行かれたそうですが、どうでしたか。

——街はやはり厳めしい石の家が軒を連ね、道路は疾走する車の洪水です。これは日本以上にですね。それに、日本人が他人に何の関心も持たず動いているように、何か疎外感のようなものを感じました。

——イギリス人は日本人をどう見ているのでしょうか。

——一つは日本文化の奇妙な組合せに驚いている様子です。それは、世界の最先端を行くような科学技術を育む反面、古来からの文化も現在に伝えている点です。もう一つは礼儀正しいこと。日本人の勤勉さ、繊細さに感心しています。だから彼らは日本の国民性を世界の他の国々にも絶えず欲している。この時、私は自分が日本人であることを改めて感じました。

——最後に、この旅行で一番印象に残ったことは何ですか。

——それは、海外へ出る時には必ず事前にいろいろ予備知識をつけておくということですね。旅行もムダにならないうえ、特に印象に残るものとなるだろう。個人個人が旅行のマナーを守って、素敵な思い出を作ってください。

——秋……誰かがもの哀しくなる季節。虫の声、夜長、そんな魅力もあるけれど、スポーツするにも読書するにも良い季節だけれど、やっぱり秋葉を見ると沈み込んでしまう。

ふと「恋ぐすり」を売って歩くセールの人に出会った。……なんて思った。ふり向けば、そこにはあの人が立っていて、こちらに優しく微笑みかけてくれたら……なんて想像したりして、やっぱりかなわぬ夢と気づいては、涙する季節。